

とみけいニュース 第67号

発行元 富山経済会
発行日 2021年5月17日
編集 広報委員会



2021年度 会長 小倉 孝之 氏



2021年度 観桜会 こし路にて

2021年度会長 会長挨拶

(有)インテリアの小倉 代表取締役社長 小倉 孝之



「逆境にある人は常に“もう少しだ”と思って進むがよい。いずれの日か、前途に光明を望むことを疑わない。」
新渡戸 稲造 の言葉

新型コロナウイルス国内患者発生から1年と数か月が経過致しました。国内の感染者状況は数回のピーク時を経験し、医療従事者から始まったワクチン接種も予定通りとはいえないまでもそれでもなんとか多くの関係者の方々のご努力により、進んでいます。新型コロナの変異が確認されておりますが、徐々にですが、明るい方向に向かっていることには相違ありません。

昨年度はご承知の通り新型コロナウイルスにより私共の活動においても多くの制限や、活動中止を余儀なくされました。

今年度は、新型コロナウイルスの危惧が払拭された時には、2泊3日の国内旅行を企画致したいと考えております。そのことも含め、富山経済会の会員の皆様が本来あるべき安心・安全の下での明るい活力のある活動が一日も早く訪れることを祈念致します。今年度も昨年同様、新型コロナに対して細心の注意を払いながら、会員の皆様のご理解とご協力を頂き、会の活動に全力傾注していきたいと思っています。 前年にもまして何卒、諸先輩方のお力添えを賜りますよう重ねてお願ひ申し上げます。



2021.2.17 講演会 同一労働同一賃金について 社会保険労務士 藤井 正博 氏

同一労働同一賃金とは、正規雇用労働者（正社員や無期雇用のフルタイム労働者）と非正規雇用労働者（有期雇用労働者、パートタイム労働者、派遣労働者）の間の不合理な待遇差の解消を目指す取り組みを指します。単に「正社員」「パート」といった

雇用形態の違いによって待遇差を設けるのではなく、職務内容や配置変更の範囲を根拠に、労働者を適正に処遇する制度です。 派遣労働者への同一労働同一賃金、及び大企業におけるパートタイム労働者・有期雇用労働者への同一労働同一賃金は、すでに2020年4月より企業規模を問わず適用となっています。

日本で「同一労働同一賃金」が導入される背景 → 生産年齢人口の減少により、多様な労働力の確保が急務になっているためと格差の固定化を回避するため

- 1、同一労働同一賃金のメリット
・従業員のモチベーションがあがることで業績アップが期待できる
・納得できる待遇によって採用しやすくなり人材不足解消が期待できる
- 2、同一労働同一賃金のデメリット
・不合理な格差があった場合、人件費が上昇する可能性がある

今回は、富山経済会に1982年11月にご入会の初期メンバーである上村清二さんにお話を聞きに職場に訪問しました。

当時のホテルへ富山経済会が入居した時の話や今までの仕事のこと、またミシンをかけられ、素早くきれいにズボンの裾上げをする様子も見せていただきました。

(有)カミグループ 代表取締役 上村 清二 氏



☆仕事のこと

ホテルグランテラス富山の隣の旧住友生命ビルの1階でブティック「プレイボーイ カミ」を営業していて、その後中野と赤田にも店舗がありました。そんな時にアメリカへ行き、スーツを着ている人が少なく、もうそういう時代ではないと感じ洋服のお直し屋と並行しました。

そして1995年ごろ総曲輪にリサイクルショップを開きこの店が一番繁盛しました。景気が良いときはどんどん買いますが、景気が悪くなると、お客様はお直しやリサイクルショップに古いものを持ってきます。洋服に対して、流行よりも自分の個性を持つお客様が多くなってきて自分の希望を言い、お客様はデザイナーで思うようにしてあげるのが自分の仕事です。好きなことを言ってもらいできるだけのことをあげたいです。今は自分の希望をはっきり言う人が多く、その方がこちらとしては仕事がやりやすいです。

現在は売上げの70%が個人で、以前西武百貨店があった時は70%が西武で、閉店したら売上げがガタんと落ちました。その後、外部の仕事をだんだん止めて個人を主流にしました。

(ちなみに訪問した3月下旬は学生服の仕事でとてもお忙しいようでした)

1年で一番忙しい月は、10月で夏から冬へと変わる時期なので単価の高いコートのお直しとかある月です。とても波のある商売ですが、若い時は波のない肉屋さんで6年間アルバイトをし、捨てる物がない商売でしたがかなり大変でした。

今のこの店舗のビルは約25年前の総曲輪のリサイクルショップをしていた時に購入し、昔は、イージーオーダーの洋服屋でしたが重要も減り、とても厳しくなり現在の洋服お直しセンターになりました。



お店にあった懐かしいロゴ

☆富山経済会のこと

上村さんは、約40年前に桜橋通りの旧住友生命ビル1階でブティックをされていた旧名鉄トヤマホテルの大家であるビルの管理事務所の所長を故中村勉さんに紹介されて、その後いろいろ手続きに大変でしたが富山経済会が入居できた。と言う話を聞きました。会の今後については、今のままでなく、時代の変化に合わせて、新しく若い会員が入会するためには、会費の件も含め、いくつかの検討すべきところはあると思う。と言うご意見をいただきました。



入会当初よりお世話になっている上村さんですが、お仕事の詳細をよく存じておらず、お仕事場への訪問をとても楽しみにしていました。沢山のミシンや縫い糸、直しを待つ衣類たち、お店をされていた時の名残の品々が並ぶ作業場は壯観でした。専門的なミシンを軽快に操り作業される上村さんは、時代と共に変化を遂げながらも長年に渡り、真摯に仕事を続けてこられたことを強く印象づけられ、自分がまだまだ未熟者であると気付かされ新鮮でした。上村さんのバイタリティをこれからも間近で勉強したく、経済会最年長となられても尚、ご健康にご留意いただき、末永くご一緒させていただきたいです。(2020年度広報委員長 久留)



左の写真は、専門のミシンで学生服の裾上げをする上村さん。中部高校のズボンをかがりながらまつるミシンで表に響かないようにきれいに仕上げておられました。特殊な針ですごいスピードできれいに仕上がってきました。

「プレイボーイ カミ」

今から40年前に名鉄トヤマホテルがあった住友生命ビル(現在は北日本桜橋ビル)の1Fに上村さんのブティックがあり、その店舗名がプレイボーイ カミです。当時おしゃれな故中村勉さんが洋服を買いに来られたそうです。